

企業ガバナンス部会—研修会（第11クール） 「2015年10月～2016年5月」

統一テーマ： —「攻めの企業統治」が求められる今こそ、経験知と・学習知のバランスがとれた社外取締役・監査役が求められる—

2015.9.10

回次	開催日時	カリキュラム項目	講師	視点	場所	担当世話役	参加人数
1	2015.10.22(木) 午後3時—5時	日本企業における内部監査の実際と課題 —コーポレートガバナンス・コードが制定された中での 監査役・取締役との実効ある関係—	石原 基康 氏 キリンホールディングス株式会社 常勤監査役	経営監査部の長い経験に基づく、日本企業の内部監査の実際についての説明と、現在常勤監査役を務めている立場から、内部監査部門との活用と連携について、具体例を入れて説明いただく。	学生会館 203号室	富沢 進	
2	2015.11.11(水) 午後3時—5時	機関投資家の立場から、社外役員に期待すること —「攻めの企業統治」が求められている中、社外役員 の役割について—	木村 祐基 氏 一般社団法人ステewardシップ 研究会 代表理事	機関投資家の企業業績に対する見方が厳しくなる中、社外取締役の役割が注目されています。機関投資家が期待する社外役員の役割につき、具体例を含めて語って貰います。	学生会館 203号室	平井 隆一	
3	2015.12.18(金) 午後3時—5時	社外役員に求められる財務リタラシー —「伊藤レポート」のROE8%の背景—	柳 良平 氏 イーザイ株式会社常務執行役C F O (最高財務責任者)	執行サイドから、社外役員の求められる役割について、財務面から説明します。講師は、「伊藤レポート」の執筆委員で、「ROE革命の財務戦略」を最近上程。	学生会館 203号室	廣島 輝文	
4	2016.1.19(火) 午後3時—5時	攻めの企業統治が求められる中で、社外役員としてリスク マネジメントから押さえておくべき点 —取締役会での案件審議において—	佐藤 明夫 氏 佐藤総合法律事務所 代表	会社法改正、コーポレートガバナンス・コード、ステewardシップコードなど、企業経営への監視が強まる中、M&A,海外投資、経営報告等の取締役案件に対して、留意すべき点をご説明頂きます。	学生会館 203号室	橋本 健	
5	2016.2.18(木) 午後3時—5時	最近の監査役の実務課題（その7）	杉田 純 氏 三優監査法人 統括代表社員	人気講座で、前回以降の監査役をとりまく環境変化とその対応について、簡潔にお話を頂く。配布資料は、貴重な情報源として貴重です。	学生会館 203号室	細谷 洋夫	
6	2016.3.18(金) 午後3時—6時	パネルディスカッション —社外取締役が語る実際(そのII) — (終了後懇親会予定)	コーディネーター 今井 祐 氏 パネリスト (予定) DF会員で現職社外取締役	DF会員の現職社外取締役から、その実際と期待される役割に向けた方策や悩みについて、本音で話してもらいます。	学生会館 320号室 (懇親会)	上原 利夫	
7	2016.4.20(水) 午後3時—5時	海外子会社のリスク管理のポイント —グローバル化の中で、海外業務の適切な管理は 企業価値の持続的成長に必須—	毛利 正人 氏 DF会員、米国公認会計士、クローホ ワース・グローバルリスクコンサル ティング株式会社社長	海外子会社の不祥事は多いですが、日本企業のグローバル化の中では必須です。成功・失敗例の具体例を入れてご説明頂きます。	学生会館 203号室	平井 隆一	
8	2016.5.23(月) 午後3時—5時	海外M&Aの失敗の原因から学ぶ —具体的なケースを取り上げて—	松本 茂 氏 S G S Global マネージングダイ レクター	日本企業の海外M&Aは最近活発ですが、海外M&Aは失敗が多く、失敗の本質的な原因について、具体例を入れて説明頂き、海外M&Aの教訓を示して頂きます。	学生会館 203号室	廣島 輝文	